

さくらそう通信

四街道のサクラソウ

●四街道市の紹介

四街道市は、千葉県の北西部に位置し、県都千葉市へ8キロ、都心へ40キロの圏内にあり、広域幹線道路の国道51号線、東関東自動車道が縦断し、千葉市、佐倉市に隣接しています。市域は東西7キロ、南北9キロ、面積34.7平方キロメートルです。

昭和30年3月、千代田町と旭村が合併し、四街道町が誕生、人口は1万8014人でした。昭和40年代前半からは、幾つかの大型団地が誕生し、首都圏のベッドタウンとして急速に人口が増加することで、昭和56年4月には、千葉県で28番目に市政が施行され、自然と都市機能が調和したまちとして、これまで成長を遂げてきました。

21世紀に入った今日、四街道市では、約8万6000市民による「市民参加のまちづくり」を推進しています。

●市の花「サクラソウ」の誕生

市の花としてサクラソウが指定された経緯は、平成13年の市制20周年を記念して、市民アンケートを実施した結果、もっとも多く得票数を集めた花だからです。

春に美しい花を咲かせ、希望という花言葉を持つサクラソウは、当時、千葉市との合併議論が活発になされ、市の将来を真剣に考える時期にあった当市にとってふさわしい花であり、2位であったデージーと234票の差をつけ、1334人の方たちがサクラソウを市の花として支持しました。

また、市内に12校ある小学校のうち、市役所に一番近い中央小学校の児童が西洋サクラソウを花壇で栽培していたのが、得票数を伸ばした大きな理由であったと思われます。

●四街道サクラソウの会の発足と活動の実績

四街道サクラソウの会は平成17年1月に発足いたしました。市が市政だよりにて会員の募集を行ったもので、約50名の市民が会員になりました。活動の始まりは、1月30日(日)中央小学校で「サクラソウ育成講習会」を開催し、芽分け作業と芽の植え付け



四街道のサクラソウ（市役所ロビーでの展示）

作業を行ったことです。その後、2月下旬に芽の追加配布を行い、会報紙を発行することで、会員に向けてサクラソウの育成指導を行いました。

4月22日(金)には、会員の親睦を深めるため、国の特別天然記念物にも指定されている「田島ヶ原サクラソウ自生地」の視察見学会を行いました。

市有バスの乗車定員一杯の45名の会員が参加し、磯田先生(さいたま市文化財調査専門員)、埼玉さくらそう会の皆さんとさいたま市職員のご厚意により、現地での懇切丁寧なご説明、農業者トレーニングセンターでの埼玉さくらそう会への質疑応答など、とても充実した時間を過ごすことができました。

ノウルシに混じり自生地に咲き誇るサクラソウは、これまで鉢植えだけで鑑賞してきた会員にとって、大きな感動



サクラソウ育成講習会



田島ヶ原の自生地を見学



埼玉さくらそう会との交流

を与えるものでした。

4月25日(月)～28日(木)の4日間は、会員が手塩にかけて育てたサクラソウの展示会が市役所ロビーで開催され、展示棚に会員の作品52鉢がずらっと並びました。

会員の大半は日本サクラソウの育成に日も浅く、育てるのに試行錯誤したことと思いま

すが、どの作品も見事に花が咲き、会員それぞれの個性を映し出していたようにも思えました。

市の花として指定されているサクラソウですが、まだまだ市民の皆さんの知名度は低く、展示会では、西洋サクラソウと間違えられることもあり、その違いを尋ねられることもありました。しかし、市役所に来庁された市民の皆さんが、改めてサクラソウの美しさを実感し、サクラソウを通じて市民の皆さんと会員が交流できたことは大きな収穫でした。

9月6日には第1回の総会が開催され、会員の9割の出席者から、会の活動方針を定めた会則や会の運営を担う役員の選出について、承認を得ることができました。現在では、月に一度の定例会を行うなど、会の活動も軌道にのりつつあります。

●四街道サクラソウの会の今後の活動

会の活動内容のひとつとして、サクラソウが自生できそうな環境に原種に近い品種を植え込み、さくらそうの名所をつくる「サクラソウのじゅうたん事業」があります。

本事業については、市の基本計画にも位置づけられてい

るものであり、サクラソウの会と市の協働事業により、実現に向けた様々な取り組みを行う予定です。

平成17年12月には、市職員を交え、四街道市総合公園をはじめとした候補地の見学会を行いました。

今後は、試験的にサクラソウの苗を候補地に植えて、四季を通じた候補地の環境状況調査等を実施してまいりたいと考えていますが、田島ヶ原の見学会でもお世話になった磯田先生からご指導いただくなど、さいたま市の皆さんがこれまで蓄えられた知識や経験をご教示いただければと考えております。

また、本年1月末には小中学校の職員の皆さんにサクラソウの芽分け、植え付けの講習会を行いました。花が開く時期には、きっと多くの生徒や保護者の目を楽しませてくれることでしょう。四街道市のサクラソウの輪が更に大きく広がっていくことを期待しています。

4月の24日(月)から28日(金)には、市役所ロビー(現在、市内大型店舗についても出展場所として使用できないかを交渉中)にて、第2回目の展示会が開催される予定です。昨年の展示会に出品した作品に負けないよう、会員一人ひとりが夏場の水遣りをはじめとして徹底した管理を行ってきました。どのような作品が出展されるか会員一同楽しみにしているところです。

●サクラソウから始まる地域の輪

近年の核家族化の進展は、当市の福祉行政にも大きな影響を与えています。サクラソウ普及事業は市のCI事業として位置づけられているところではありますが、サクラソウの会の活動が活発になるにつれ、普及活動に留まらず会員同士の日常生活のたすけあい活動も活発になってきています。全国的にみても、高齢者の引きこもりなどは大きな社会問題とされているところではありますが、サクラソウの会に属する会員にはそのような孤立した人は見受けられません。今後ともサクラソウから始まる地域の輪が広がっていくことを市としても期待しています。

四街道サクラソウの会

会長 仲田 隆

四街道市総合政策部事業政策課

黒岩正和



「サクラソウのじゅうたん事業」3ヶ所の候補地